

## 高台まちづくり推進方策検討ワーキンググループ 第2回

### 議事要旨

1. 日時 令和4年1月21日(金) 10:00~11:20 (WEB開催)

2. 出席者

国土交通省 佐々木治水課長(委員長)、菊池市街地整備課長、荒瀬環境安全・防災課長、藤田関東地方整備局統括防災官、大井関東地方整備局建政部長、塩井関東地方整備局河川部長、高松関東地方整備局道路部長

東京都 朝山市街地整備部長(副委員長)、谷崎都市基盤部長、小野都市づくり政策部長(代理出席:武山政策調整担当課長)、芝崎防災計画担当部長、前田道路管理部長、根来公園計画

担当部長、齊藤河川部長(代理出席:入澤低地対策専門課長)

内閣府 矢崎政策統括官(防災担当)付参事官(調査企画担当)(代理出席:高畑参事官付企画官)

墨田区 高野副区長

江東区 押田副区長(代理出席:小川都市計画課担当係長)

北区 内田副区長(代理出席:丸本都市計画課長)

板橋区 橋本副区長(代理出席:林危機管理部長)

足立区 工藤副区長

葛飾区 小林副区長(代理出席:情野都市整備部長)

江戸川区 新村副区長(代理出席:立原土木部長)

(オブザーバー)

(独)都市再生機構 中村理事(代理出席:川崎課長)

東日本高速道路(株)管理事業本部・本部付 佐久間部長

首都高速道路(株)岡田保全・交通部長

3. 議事要旨

○ 議事 1) ①について、各区から

- ・墨田区においては、雨水利用、地籍調査、公共施設等における避難スペースの確保、住民の意識啓発に取り組んでいる。
- ・江東区においては、浸水対応のまちづくりを重点戦略の1つとして位置付けた都市計画マスタープランの策定を年度末に予定している。
- ・北区においては、「逃げ遅れゼロ」の実現を目指し、大規模水害避難行動支援計画の令和4年度中の策定、マイ・タイムラインの普及拡大に取り組んでいる。
- ・板橋区においては、「水防災ひと・まちづくり」の検討を進め、ハード・ソフト両面における高台まちづくりを推進している。舟渡・新河岸地区では、人工地盤でかさ上げされている区立新河岸陸上競技場と堤防天端をつなぎ、発災時には区の南側の高台へ避難するルートを確

保するとともに、平常時には賑わい創出にも活用する「かわまちづくり計画」を申請し、昨年8月に国土交通省に登録した。

- ・葛飾区においては、広域避難と垂直非難を上手く組み合わせることで、区民の命を守る「浸水対応型市街地構想」を進めている。小中学校の建て替え時は、冠水した状況の中でも、一定期間、避難生活を送れるよう、浸水しない階に体育館を設置することや、出来る限り持続的に電気供給できるよう、中圧ガスの引き込みとGHPを合わせて導入するなどの取り組みを進めている。来年度からは、こういった取り組みを民間レベルでも進められるよう、補助制度を構築する。また、公園を一部高台化し、救助・救出拠点化する検討を進めている。
- ・江戸川区においては、JR小岩駅周辺で中高層建物を歩行者デッキでつなぎ、浸水時に水平避難を可能とする再開発などの取り組みについて令和13年度の完成を目指している。船堀地区については、令和10年度の完成を目指し、新庁舎や民間再開発ビルなどの建物群による高台まちづくりの検討を行っている。江戸川沿いの篠崎地区の「篠崎公園地区」では、高規格堤防整備、土地区画整理事業、篠崎公園の一体的整備による高台化に来年度着手予定である。また、「都県橋整備を含む高台まちづくりエリア」においては、都県橋の早期整備を目指す高台まちづくりの検討を進めている。荒川と並行した中川左岸は、決壊しない強固な堤防整備・強化が必要であり、国の高規格堤防や都のスーパー堤防整備を期待している。
- ・足立区においては、あだち高台まちづくり推進協議会を設置し、都立中川公園周辺地区、本木・関原地区、小台・宮城地区、新田地区の4地区で高台の確保やコミュニティタイムラインの検討を開始した。

などの説明がなされ、②について国土交通省治水課、東京都都市整備局、荒川下流河川事務所から説明がなされた。

また、2)意見交換を行い、

- ・国・都・区が高台まちづくりを支援する制度などについて連携した検討をさらに進めるべき。などの発言があった。

#### ○報告事項

- ・東京都都市整備局より、道路高架部等への緊急避難の検討における基本的な考え方について報告があった。